

日野隆之\*：隠岐諸島産 *Pestalotia* 属菌についてTakayuki HINO\*: Notes on *Pestalotia* in Oki-Island

1965 年 9 月 22 日および 23 日、島根県隠岐諸島の島後において、*Pestalotia* 属菌の調査を行ない、7 種を記録することができたので、ここに報告しておくこととした。今回は、島前の地区は調査することができなかったが、他日機会をみて調査し報告したいと思う。

1. *Pestalotia aceris* P. Henn.; Saccardo: Syll. Fung. **16**: 1014 (1902); Hara: List Jap. Fung. **243** (1954); Guba: Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 196-197 (1961); 日野: 採と飼 **26**: 264 (1964).

寄生植物: ツタモミジ *Acer mono* Maxim. (= *Acer pictum* Thunby)

採集地: 周吉郡西郷町, 穂地郡五箇村。

2. *Pestalotia diospyri* Syd.; Saccardo: Syll. Fung. **25**: 601 (1931); 野島: 鹿児島高農学術報 **7** (1929); Hara: List Jap. Fung. **244** (1954); Guba: Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 225-227 (1961); 日野: 植物防疫, **16** (7): 17-18 (1962); 採と飼, **26**: 266 (1964).

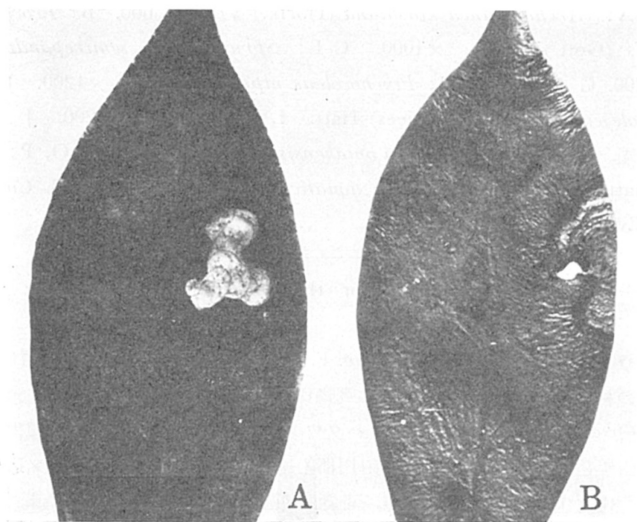


図 1. A. *P. ongi-aristata* 菌によるシキミの被害葉,  $\times 1$ .  
B. *P. theae* 菌によるシキミの被害葉,  $\times 1$ .

\* 神戸植物防疫所境港出張所. Sakaiminato Branch of Kobe Plant Protection Station.

寄生植物：カキ *Diospyros kaki* L., サルトリイパラ *Smilax china* L.

採集地：周吉郡西郷町。

3. *Pestalotia guepini* Desm.; Saccardo: Syll. Fung. **3**: 794 (1884); Hara: List Jap. Fung. **244** (1954); Ito: Bull. Govern. Forest Exper. St. **70**: 104-124 (1954); Guba: Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 108-113 (1961); 日野: 採と飼 **26**: 295 (1964), **27**: 229 (1965).

寄生植物：ツバキ *Camellia japonica* L.

採集地：周吉郡西郷町，周吉郡布施村。

4. *Pestalotia longi-aristata* Maub.; Saccardo: Syll. Fung. **18**: 478 (1906); Hara: List Jap. Fung. **245** (1954); Guba: Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 243-244 (1961); 日野: 採と飼 **26**: 318-319 (1964).

寄生植物：シキミ *Illicium religiosum* Sieb. et Zucc.  
*P. longi-aristata* 菌がシキミの葉に寄生することは、新しい記録であるが、筆者が1952年5月15日北九州市小倉区足立山で *P. theae* 菌が寄生したシキミの葉を採集したことがあるので、*P. longi-aristata* 菌が寄生した場合と、*P. theae* 菌が寄生した場合との斑点を比較してみると、前

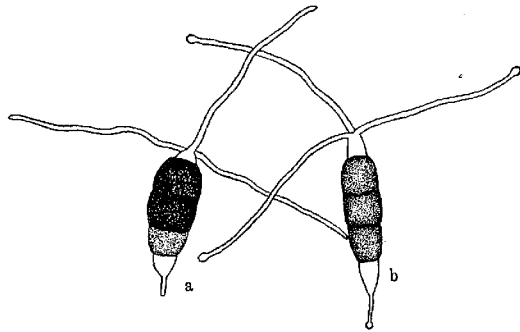


図2. a. *P. longi-aristata* 菌の胞子.  $\times 600$ .  
b. *P. theae* 菌の胞子.  $\times 600$ .

者の斑点は、不正円形で、初め褐色から後に灰褐色～灰色になってきて、斑点の上に黒色小粒点を多数生ずる。後者の斑点も不正円形であるが、褐色から黒褐色になり同心円状の輪を生じ、後に灰褐色～灰色となって黒色小粒点を生ずる。後者の場合は、斑点上に同心円状の輪を生ずるのが特徴である(図. 1. 参照)。菌の胞子を比較してみると、両菌とも5細胞であるが、*P. longi-aristata* 菌は着色3細胞のうち上2細胞が濃黒褐色で、下1細胞は淡褐色である。*P. theae* 菌は、着色3細胞とも同色オリーブ色で纖毛の先端が膨大して瘤状をしている。従って両菌は、形態的に一見して区別できる(図. 2. 参照)。参考までに *P. longi-aristata* 菌の形態を記すると次のとおりである。胞子堆は黒色三角形で、後に頂端が破れて開口する。巾は  $200-420 \mu$  である。胞子は5細胞で、紡錘形をなし、大きさは  $20-32 \mu \times 7-10 \mu$  である。中央3細胞は着色し、上2細胞は濃黒褐色で、下1細胞は淡褐色をなしている。両端の細胞は無色で、先端の細胞には普通3本まれに2または4本の波状をした長さ  $14-42 \mu$  の纖毛がある。基端の細胞には

2—5  $\mu$  の孢子柄がある。

採集地：周吉郡西郷町，周吉郡布施村。

5. **Pestalotia rhodendri** Guba, Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 242-243 (1961); 日野：採と飼 26: 354 (1964).

寄生植物：ミツバツツジ *Rhododendron dilatatum* Miq.

採集地：周吉郡西郷町。

6. **Pestalotia sydowiana** Bres.; Saccardo: Syll. Fung. 14: 1027 (1899); Hara: List Jap. Fung. 245 (1954); Guba: Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 198-199 (1961).

寄生植物：シヤクナゲ *Rhododendron metternichii* Sieb. et Zucc.

採集地：周吉郡西郷町，周吉郡布施村。

7. **Pestalotia versicolor** Speng.; Saccardo: Syll. Fung. 3: 790 (1884); Guba: Monogr. *Monochaetia* and *Pestalotia*, 227-234 (1961); 日野：農と園 37: 101-102 (1962); 採と飼 26: 355-356 (1964).

寄生植物：ヌルデ *Rhus javanica* L., サネカズラ *Kadsura japonica* Dunal.

採集地：周吉郡西郷町。

□陳邦杰・吳鵬程・裘佩熹・徐炳声・周記綸：黄山植物的研究—苔蘚，蕨類，种子植物的区系和地理—(C. Pan-Chien, W. Pan-Cheng, C. Pei-Hsi, H. Ping-Sheng & C. Chi-Lung: Observationes ad Florulam Hwang-shanicum). 335 pp. 1965. 中国東部の黄山 (30°10' N. Lat. 118° 11' E. Long., 1860 m) の flora についてコケ類，シダ類，種子植物，生態，植物地理をまとめたものである。コケ類では 238 種類 (セン類 71, コケ類 167) を挙げ，3 新種，1 変種を記載している。またそれらの分布，生態にもふれ 91 種が東アジア要素で，その中にはこれまで日本特産とされていたものも 10 種ばかり含まれている。シダ類では 97 種類とそれらの検索表とを挙げ，生態，分布について日本を含めた近隣地域と比較している。日本との共通種が多い。種子植物では 381 種類と写生図 12 葉とを挙げ，その中では *Rosa*, *Celastrus*, *Clerodendron*, *Viburnum* (2) の 5 新種，*Aconitum* (2), *Celastrus*, *Ligustrum*, *Clerodendron*, *Rubia*, *Viburnum* の 7 新変種を報告している。また新分布，新見解もいくつかあり，我国に直接関係したものではケケンボナシを *Hovenia trichocarpa* Chun et Tsiang in Sunyatsenia 4: 16 (June, 1939), Syn. *H. tomentella* (Makino) Nakai in Honda, Nom. Pl. Jap. 209 (May, 1939), n. n. et in Bot. Mag. Tokyo 53: 478 (Nov. 1939) としている。生態では黄山の植生を構成する community に 12 型を認め，それぞれについて解説し，植生図を作っている。植物地理の部分では中国東部の flora は Tertiary origin であるとみて，日本の flora との共通種が多いことから日本のそれと同じ起源であろうと述べているが詳しい解析はしていない。

(大橋広好)